



9月号

平成30年8月28日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

声をつながり 成長する

校長 天野 直美

今年の夏は朝の天気予報で「最高気温 35 度」と予想の発表があっても動じないくらい、猛暑が続きました。地域・保護者の皆様には、夏休みの間子どもたちの健康安全を気遣っていただき、本当にありがとうございました。皆様もこれから夏の疲れがでてくる頃です。お体ご自愛ください。

私は夏の京都で行われる行事にはまってしまい、ここ数年続けて足を運んでいます。ニュースでは出発前日の京都の気温が 39 度と報道されていました。大丈夫か不安でしたが、土用の丑のあたりに下鴨神社で行われる「足つけ神事」と「祇園祭宵山」に行きたい気持ちが勝り、出かけることにしました。新横浜で新幹線に乗ろうとしていた時、「校長先生！」と声をかけられました。少し驚きましたが、とてもうれしかったです。保護者の方が私を気遣って「校長先生のプライベートだから。」とお子さんにお話する保護者の方の声も心にしみました。

7月31日、西が岡小学校で泉区水泳大会が開催されました。46名の子どもたちが参加しました。昨年も中田小の蒲谷校長先生が夏休み明けの学校便りで書いておられましたが、西が岡小学校の子どもたちの応援には涙が出そうになりました。他の学校への応援です。「がんばれ！がんばれ！みんな」や「ラスト！ラスト！」とレースで全員が泳ぎ切るまで声をそろえて応援を続けているのです。この声に勇気づけられたか、大会新記録がたくさん出ました。カー杯泳ぎきり、学校に到着した子どもたちに「自分がやりきったことに自信をもってください。そして応援してもらってうれしかった気持ちを忘れずに、これからクラスでも声をかけ合って楽しく安心して過ごせる学校生活にして行けたら良いですね。」と（暑かったので短く）話しました。

前任校で6年生の子どもが夏休みに「貝割れ大根の栽培～声かけが育ち方にどう影響するのか？」という研究をしていたことを思い出しました。貝割れ大根の種を3つの苗床（ABC）にまき、Aには「元気だね。」「よく育っているね。」など温かく励まします。Bには厳しい言葉で励まします。Cには何も声かけをしません。そして毎日貝割れ大根の育ちを観察し写真撮影しました。実験前にこの子どもは「一番育つのはA、その次はC、一番育ちが遅いのがB」と予想しました。結果は意外なものでした。「一番育ったのはA、その次はB、一番育ちが遅いのがC」だったそうです。「厳しく声かけをした苗より声をかけられない苗の育ちが悪かった。声をかけ合うことが大事だ。私たちも生活の中で互いに声をかけ合うことで成長できるのではないかと思います。」と研究をまとめていました。

夏休み、家庭で過ごしていた子どもたちが東中田小学校に帰ってきました。友達や先生と再会し、にぎやかな日々がまた始まります。声のシャワーを浴びて、うれしいと感じることもつらいと感じることもあると思います。一人ひとりの捉えには違いがあり、同じ声かけでも相手が傷ついてしまうこともあります。でも、声をかけないよりよいし、そうになったら誤解を解くための声をまたかければよいのです。声を出し、周りをつながることの良さを実感し、成長できる場が、東中田小学校でありたいと思います。